

馬鹿になれ！
世界で通用する「馬鹿」
になるために、大切なコト

「馬鹿になれ！」まとめ

- バカになるとは何なのか？
- 枠にはまらない、囚われないこと
- 頭がいいと、失敗することを予想出来てしまうので守りに入ってしまう
- 新しい世界を自ら進んで体験し、それを楽しみ、学ぶ
- 知らない事こそ、恐怖
- 恐怖は見えないから、知らないから自ら膨張させてしまう
- ゴールが見えているから怖くない
- 怖がらない馬鹿が最強
- 未知なる世界へ恐れず足を踏み入れろ！
- 楽しい妄想しよう！面白い妄想が実現する！
- 根拠のない自信は本当に馬鹿だから出るのではない、たくさん勉強してるからこそ出るもので、間違いをただ修正すればいいということを理解していること

はじめに

- 日本人最年少でミシュラン一つ星を獲得した、あるフランス料理シェフがいる
- 松嶋 啓介
- 20歳で渡仏。25歳の誕生日にニースに自身の店「Restaurant Kei's Passion」(現「KEISUKE MATSUSHIMA」)をオープン
- 日本人シェフとして初の「フランス芸術文化勲章」を授与
- 20歳で日本を飛び出し、25歳には現在の店をオープンさせ、その3年後にはミシュランから外国人シェフとしては最年少で1つ星を獲得した
- 彼は天才だったのだろうか？
- いや違う、彼はただ一心不乱に、愚直に挑戦し続けた、ただの馬鹿だった
- 今の日本人に足りないもの、それは「バカになること」だと思う

ひとり世界に立ち向かえる馬鹿者たれ

- 世界に飛びなすなら、馬鹿になれ！そのほうが楽しいし、新たな発見があるはず
- 真面目に考える必要なんてない、楽しめ！、学べ！
- 新しい世界に飛び出たほうが、毎日新しい発見に満ち溢れている
- 知らないことのほうが恐怖
- 恐怖は自ら勝手に大きくしているもの

根拠のない自信を貫ける馬鹿者たれ

- 根拠のない自信はどこから出てくるのか？
- 根拠の無い自信を持っている人は裏で沢山の勉強をしているし、なによりも修正能力が高い
- とりあえずやってみて、駄目だって気づいた瞬間に軌道修正ができる
- ゴールが見えているから、ただの自信過剰じゃない
- ゴールが見えているから、突き進むだけ

無謀な挑戦を自ら買って出る馬鹿者たれ

- 「他人の声なんて気にするな」
- 一見、無謀に見える挑戦は、実はちゃんとした裏付けがあって挑戦している
- 一見大馬鹿に見えるが、誰も「自分ならやれる」という確信を持っている人
- ゴールが見えていれば怖くなんてない！
- 怖がらない馬鹿は、無謀なんじゃなくて、いつか必ずゴールに辿り着くという、ちゃんと強い意思を持っているのだ

常に新しい物事を妄想する馬鹿者たれ

- 妄想するっていうことは、発想力を持って常に面白いことを探している証拠
- 妄想する力があれば、好奇心が湧いてくるし、いろいろなチャレンジができる
- 生きるということは、決められた枠の中で生きるんじゃなくて、妄想を武器にどんどん外に出ていくこと

どんな相手でも酒を酌み交わす馬鹿者たれ

- 自分のフィールドではない場所に飛び込むことで、視野も思考も広がる
- ただ酒を酌み交わすだけで大抵の話はできる
- 未知なる世界へ恐れず足を踏み入れろ！